

京都大学人文科学研究所国際研究ミーティング実施報告書

1. 国際研究ミーティングの名称

モダン・ジャズにおけるリズム構造の変遷

2. 主宰責任者氏名

久保明博(関西学院大学准教授)

3. 開催日時等およびプログラム(講演者名または報告者名を明記してください)

①日時:2020年3月1日 13:00~17:00

場所:京都大学人文科学研究所本館1階第二セミナー室

演題等:モダンジャズの和声をどう分析するか

講演者または報告者:Philippe Strange(ジャズピアニスト)

4. 概要(400字程度)

本セミナーでは4つの録音を参加者全員で分析的に傾聴することで、一体どのような点に演奏者のスタイルが顕著に現れるかについて実演つきで報告討論を行った。対象としたのはポール・ブレイ、トニー・ウィリアムス、大西順子である。当日とりわけ焦点となったのは「フリージャズ」というときの「フリー=自由」の意味であり、ジャズにおける自由が常にそのときどきのアメリカ社会において探求される「自由」と密接に結びついており、ある自由が必然的に別の抑圧をもたらし、この矛盾がさらに次の「自由な」音楽の探求につながってきたことが明快に語られた。

5. 参加者(別紙「参加状況」も記載してください。)

①学外

久保明博(関西学院大学教授) 横田恵子(神戸女学院大学教授) 武知優子(神戸女学院大学職員)
Philippe Strange(ジャズピアニスト) 笹尾佳代(神戸女学院大学准教授)
小林隆道(神戸女学院大学准教授) Zachary Braverman(翻訳家)

所内

岡田暁生 小関隆

6. 助成金の使途等

申請書のとおり

7. その他(成果や今後の展開等、自由に記載してください)

学外参加者からの評判が極めてよく、2020年度中にさらに次の会を催してほしいという要望が多数あった。「ジャズの様式分析的聴取」を主題とするセミナー等の開催を検討中である。

参加状況

区分	機関数	参加人数					延べ人数				
		総計	外国人	40歳未満	35歳以下	大学院生	総計	外国人	40歳未満	35歳以下	大学院生
学内(法人内)		2 ()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
国立大学		()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
公立大学		()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
私立大学		5 (3)	()	2 (1)	()	()	()	()	()	()	()
大学共同利用機関法人		()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
独立行政法人等公的研究機関		()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
民間機関		2 ()	2 ()	()	()	()	()	()	()	()	()
外国機関		()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
その他		()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
計		9 (3)	2 ()	2 (1)	()	()	()	()	()	()	()

※()内には、女性数を記載

※受入機関、受入人数、延べ人数を区分に応じて記入してください。

※外国人、若手研究者(40歳未満)、若手研究者(35歳以下)、大学院生の人数はそれぞれ受入人数、延べ人数に対しての内数を記入してください。

※受入人数、延べ人数については上段に総数を下段に()で女性の内数を記入してください。

※「学内」の所属機関数は「学部数」等を記入してください。

※受入人数及び延べ人数の算出方法は、以下の例に基づき算出してください

国際研究ミーティングに参加者2人が3回参加した:受入人数2人、延べ人数6人